



3歳Gくんのママとパパ

いつか喋るだろうと呑気に構えていた気持ちが揺らいだ時には、Gはもう2歳半になっていました。

ふと思い返してみると、一歳半健診時に出ていたいくつかの単語も言わなくなっていました。下の子が生まれた赤ちゃん返りだとしたら、そろそろ言葉が出てもおかしくないのに…。心のザワザワが止まらず、手当たり次第にGの成長に良いと言われる場所やものは何でも試し、そのおかげもあってか、Gは少しずつ言葉が出始め、ゆっくり成長はしていましたが、私の中のザワザワはおさまりませんでした。

そんな時に目にしたのが「もうひとつのおうち」を創られたりさせんせいの本でした。本を読んでからすぐに「もうひとつおうち」のホームページを見てはblogをチェックするようになり、ここに通えたらどんなに素敵だろう…という気持ちは日に日に大きくなっていました。

りさせんせいと初めてお話したのは、お電話でした。電話越しに、とても穏やかな優しい口調でこちらの話聞いてくださり、張り詰めていた自分の不安な気持ちがほぐれていくようでした。

「この時期に、お友達と過ごす時間の中で、お子さんと丁寧に向き合うことがとても大切なんです。」と、力強く先生は仰いました。それは当





時「お友達」のいなかったGには、かけ離れた言葉のように思えましたが、通い始めて約1年が経ち、Gは大きく成長し、先生の言葉の意味を心から実感する事ができました。

プレスクールでは、言語、心理、作業と資格を持った先生がきめ細かくレッスンの指導にあたってください、身辺自立に始まり、社会性、運動面など、バランス良く成長をはかってくださいます。

初めての事がとても苦手だったGは、オムツ以外でトイレをする事にも最初不安がありましたが、周りのお友達に背中を押され、オムツが外れるまで、そう時間はかかりませんでした。

気になっていた言葉の遅れも、数ヶ月で驚くほどお喋りになりました。それは、単語しか出ていないと私達親が思っていた時期にも、Gの身振りや表情、呟きに目を向け、いつも文章や様々な言葉を使ってGの気持ちを先生方が代弁してくださったからだと思います。「自分のことを分かってくれる」人の存在を感じられるようになってから、お話している人に視線を向ける事が苦手だったGも、徐々にその機会が増えていきました。

公園遊びやお部屋の中での身体を使ったお遊びの時間には、遊具やお道具の使い方からお友達の誘い方まで、ひとつひとつ、とても丁寧に促し





てくださり、アドバイスいただきました。お迎え時に、今まで挑戦しようとしなかった遊具のコツをつかみ、誇らしげに遊んでいた時には、感激でした。

お誕生日会やハロウィンパーティー、遠足などのイベントでは、回を重ねる毎にGのわくわくする気持ちが引き出されていきました。そして、気がつくやうに、私達自身、我が子の発達が気になってから失っていた子育ての楽しさを、また思い出す事ができていました。

まだまだ課題はありますが、「もうひとつのおうち」に出会えていなかったら、今のGと私達家族の姿はなかったと思います。

ここまでの成長を支えてくださった先生方とお友達に心から感謝しています。

最後になりますが、もし今、お子さんの発達のことでお悩まれている方がいらしたら、是非一度見学に行かれることをお勧めします。

一人一人に寄り添ってくださる素晴らしい先生と、素敵なママさん達に出会えるからです。

